

ミッション：今、そして未来へ挑戦し、地域・社会と共生する学校

- 日本国憲法(前文)
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 沖縄県・島尻教育事務所教育目標及び教育施策
- 南風原町教育目標及び教育施策

南風原町そろえる
実践＜凡事徹底＞
時を守り
場を清め
礼を正す

校訓『自立・共生』 ※指導の立脚点として
自立・・・自らの課題に粘り強く取り組み、学ぶ意欲と責任をもって行動する
共生・・・人とつながり、地域・社会、自然と協調して生きる

学校教育目標

☆よく学ぶ生徒(知) 自ら学びともに学ぶ生徒

☆心豊かな生徒(徳)

思いやりをもち、互いに認めあえる生徒

☆たくましい生徒(体)

心身ともに健康で、忍耐力のある生徒

スローガン 「生徒教師が**対話**を通して**信頼**し合い、
ともに**笑顔**と**活気**に満ちた学校」

保護者・地域の願い
☆将来の夢や希望を持ち、自らの人生を切り開き、たくましい、心豊かな子に育ってほしい
<地域の概況>

- 県都那覇市に隣接し、津嘉山区の開発整備、町外からの人口流入等により生徒数が増えている。
(R6.3 656名)
- 地域学校協働本部事業(学校応援隊はえばる)を始め、地域の支援が活発で協力的である。

<言語化・視覚化>

本年度の重点

<豊かな心を育て、じりつ(自立・自律)共生する生徒の育成>

- ① **目標の連動**に取り組み、個人の目標の達成を図る。
- ② 特別な教科「道徳」を要とした道徳教育の推進。「**考える道徳**」、「**議論する道徳**」(全職員で関わる)
- ③ 南星中ならではの**特色ある教育活動**の実践(学校行事・生徒会活動等)し自主性・主体性を育成する。
- ④ **地域人材を活用**し3年間を見通したキャリア教育の実践(農業・PBL・平和学習等)「**かふやみ**」

<自ら学びに向かい、確かな学力を身に付ける生徒の育成>

- ① **主体的・対話的に学習に取り組む生徒**の育成を目指し、個別最適な学び、協働的な学びによる授業改善を目指す(タブレットの活用)
- ② 「**南星スターディモデル**」の共通実践による「**読み解く力**」の育成
- ③ **生徒指導の4つのポイント**を生かした授業の日常化
- ④ **キャリア手帳**、**放課後学習会**の活用を促し、自学学習のサイクルの確立を図る。

<健康で安全・安心な学校づくりの推進>

- ① 生徒個々の抱える問題に対応する相談体制の充実を図り、組織的な指導・支援にあたる。
－**生徒指導委員会・教育相談委員会・特別支援教育の連携**－
- ② 安全な環境整備とともに生徒自身の**自己指導能力**の育成を図る。(避難訓練・各種講話等)
- ③ 学校公開日、学校説明会の実施、学校評価等による教育活動のPDCAサイクルによる改善

<生徒とともに学び、「チーム南星」の組織の一員として職務を遂行する教職員>

- ① **目標の連動**を意識して各種経営(学校・学年・学級・教科・部活等)の充実に取り組む
- ② **多様性※人権**を尊重し、教師・生徒・保護者間においてまずは「対話」による理解、指導、支援を心がける。
- ③ 「**報告・連絡・調整・相談・確認**」を密に行う。何かあれば直属の組織との共有→管理職への方向・共有を怠らない。
- ④ **服務規律**の遵守→**体罰・暴言**の禁止、信用失墜の禁止(公務内外で行われた暴行・傷害、飲酒運転、わいせつ行為等の犯罪行為、刑事罰の対象にならなくても社会的に非難されるべき行為等)
- ⑤ 教師力の向上(**教師の基本は授業**)を目指し、校内研修を通して共通実践を図り、協働して教育活動に取り組む。
- ⑥ **笑顔で働きがいのある健康的な職場**(風通しの良い、相互扶助、**業務改善**※ノー残業デー、部活動の適正化、教材・資料の共有化、アンケートのオンライン化、会議の持ち方の見直し等)県**ピースプラン**の3軸6視点

① **コミュニティ・スクールの推進<学校運営協議会の開催><学校支援ボランティア、地域自治会等との連携>**
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「**地域とともにある学校**」づくり

② **小中連携の推進**(小中情報交換会・小6出前授業の実施等)

③ **PTAとの連携による教育活動の充実**

④ **行政・関係機関との連携**(子どもの問題を発見し支援につなぐ)(部活動の地域移行・展開)